



明V連だより

～ボランティアとボランティアをつなぐ広報紙～

113号 令和4年1月
発行：明石市ボランティア連絡会
編集：広報部 編集委員会
明石市真崎1丁目5番13号
明石市立総合福祉センター内
TEL・FAX 078-924-9112

新しい年を迎えて

会長 坂口逸子



令和4年の新春を迎え、皆様方の変わらぬご理解・ご協力に心より感謝致します。昨年も私達の暮らしはコロナに翻弄されボランティア活動においては緊急事態宣言発出が繰り返され、人が一堂に会する機会の縮小・中止を余儀なくされました。しかしふれあいや助け合い活動のできない中、人と人のつながりを途切れさせないように

と知恵を出し合い、工夫を凝らしてコロナ禍でもできる活動を進めてきました。その結果ボランティアの重要性、支え合いの必要性を再確認しました。コロナ感染はまだなお収束には至っていませんが感染対策の徹底を図り、希望をもってボランティア活動に取り組んでいきましょう。今年もコロナ時代を見据え、世代を超えてボランティアが元気で楽しく活動できる場の工夫や施策を探っていきたいと思います。明V連発展のためご協力の程どうぞ宜しくお願い致します。



手を携えて安心の地域づくりへ

明石市社会福祉協議会 理事長 野村 信一



新年あけましておめでとうございます。

ボランティア連絡会の皆様におかれましては、昨年も収束が見えないコロナ禍にありながら地域の中で支援を必要とされる方や居場所を求める方を思い、活動の再開、継続に努められました事に心より敬意と感謝の意を表します。本年4月より、明石市社会福祉協議会第3次地域福祉活動計画がスタートします。誰もが安心して暮らせる地域づくりに向けて、ボランティアの皆様

に寄り添い手を携えながら地域福祉の一層の充実に取り組んでまいります。本年もどうぞ宜しくお願い致します。



令和3年度受賞おめでとうございます

厚生労働大臣表彰（あかし点訳グループ）・・・・・・・・・・代表 片山たづ子

【この喜びに感謝して】 このたび思いがけなく表彰をしていただき、グループ員一同感激しています。昭和61年4月に発足以降、アツという間の36年でした。今迄の多くの方々のご尽力の賜物と、深く感謝しております。近年はパソコンソフトでの点訳やインターネットによる点字データの送受信、点字ディスプレイの利用など、デジタル化の進む中、6つの点を組み合わせ、その1点1点に心をこめて言葉として、視覚障害者の方々にお届けしています。今後も受賞の喜びをかみしめ奥の深い活動を続けていきます。



ひょうご県民ボランティア活動賞（まないたお食事会）・・・・・・・・・・代表 牧山榮子

【温かいお弁当を作って30年】 30年前に、「独居老人給食サービス」という名で始めたお弁当作りです。朝9時から作り始め、調理に携わったボランティアも一緒に50人が一堂に会して会食します。栄養士による旬の材料を使った温かいお弁当は好評です。料理の勉強にもなる利点もあり、会員の減少が少なく長く続けることが出来ています。当初からの会員が7名います。毎月「まな板通信」を発行しています。



明石市福祉功労表彰（リサイクルボランティアもったいない明石）・・代表 片岡孝二

【明石市福祉功労表彰】 今回このような賞をいただき身に余る光栄に存じます。ノーベル平和賞を受賞されたケニアのワンガリ・マータイ環境副大臣の「もったいない」という言葉が有名になったように、物をムダにしないことをモットーに活動しています。ご家庭で不要になりました電動ベッドや車イス等の介護機器を訪問時に回収して、整備、点検、清掃、消毒等行い、必要とされている方々へ提供しています。



電動ベッドの台座部整備中

永年ボランティア表彰受賞者数

年齢別	75歳	80歳	85歳
被表彰者数	39名	24名	13名

《フェアで交流を》

明V連 副会長 三宅由香

例年のフェスタに代えて「福祉センター交流フェア」の準備が着々と進んでいます。

開催日時 令和4年2月12日（土）9：30～12：30

開催場所 総合福祉センター本館1・2階及び新館

内 容

コロナ感染急拡大の為中止します

（感染症対策を十分行ったうえで開催いたしますので皆様どうぞご参加ください。ただしコロナ感染者数の増加等で開催が中止の場合もあります。）

コロナ禍に負けずに校区ボランティア交流会

★藤江小校区 令和3年11月6日（土） 場所：藤江小コミセン（参加者 24名）今回は、「コロナ禍での防災を考える」をテーマに基調講演として兵庫県社協の永坂さんが、東日本震災から自ら得たデータを含めながら、藤江地区での防災について時々ユーモア交えながら話されました。その後のディスカッションではこの地区での避難場所や避難方法について話し合われ、最終的にはこんな時だからこそ、小さな繋がりが大切であり、ボランティア活動をされている方々の協力が必要であると参加者全員が確認し合って閉会いたしました。



★和坂小校区 令和3年11月20日（土） 西明石町公民館において「ボランティア活動をしながらか知識を広めよう」をテーマにボランティア交流会が開催された。明石市SDGs推進室の高橋 朗さんを講師に「誰もが持っている多様な性の講座」を受講した。①自分の性別②周りの人の性別③好きになる性別⇒④SOGIE*など、性の多様性を表していると分かりやすく説明いただいた。



緊急事態宣言解除後だが、マスク着用、検温、手指消毒、机椅子の消毒をし、更に三密を避けるため各グループ原則1名の参加での開催となった。

★山手小校区 令和3年10月17日（日）実施。テーマ“山手を歩いて災いに備えよう！” 目標は、風水害・地震・夜間・子供安全などに対する危険箇所を洗い出し、その結果を「まち協」に報告し対策を求める。総勢44名がA・B・Cの各コースが選び、2グループに分けて時間差で出発。Cコースの方の話では、狭い道で溝蓋のない側溝や崩れた側溝、背よりも高いブロック塀などもあり、痛ましい事故を未然に防ぐ為にも安全対策が必要だと実感し、防災意識をもって地元を見つめた今回の取り組みは大変有意義だったとの事だった。



★魚住東中校区 令和3年11月13日（土） 魚住市民センターにて「コロナ禍でのつながり作り～認知症 他人事から我ことへ～」のテーマで、兵庫県社協の永坂さんにお話をさせていただきました。認知症に関する予防、治療、ケア、関わり方等の学びは多様です。認知症の方が安心して暮らせる地域づくりの担い手はだれか、まだまだ他人ごとと思っけていてもいずれは、だれでも年齢を重ねていくと通る道です。自分の事として、考えて行かねば



と思えるお話し合いました。

※：SOGIEは、明石市HPのURLを参照⇒<https://www.city.akashi.lg.jp/seisaku/sdgs/lgbtsogiekiso.html>



明石市ボランティアセンターだより

令和4年度のボランティア活動保険のご案内

次年度のボランティア保険加入受付は **2022年3月からスタートです!**

加入手続きの流れ ボランティア保険は **2種類**あります

- ① パンフレットの申込書に必要事項を記入
- ② 明石市社会福祉協議会の窓口に来所（住所は下記に記載）
- ③ 窓口で保険料をお支払い
- ④ 市社協が受付印、受領印押印
- ⑤ 加入者様控えを受け取る

★持ち物

申込書・保険料

【法人の場合】… 法人印必須

◇その他、ボランティア行事務用保険などもあります。

令和4年度分は3月1日以降お渡し予定です。パンフレットは明石市社会福祉協議会にございます。



兵庫県ボランティア市民活動災害共済

市民活動災害共済プラン 500円～

天災危険補償プラン 600円～

☆お知らせ☆

兵庫県ボランティア市民活動災害共済のみ、ふれあいプラザ あかし西の3階ボランティア活動室でも3月22日(火) 3月24日(木)に臨時受付窓口を設置します。



全国社会福祉協議会ボランティア活動保険

基本プラン 350円～

天災・地震補償プラン 500円～

※2021年度実績
保険掛金は変動する場合があります。

【申込み・問合せ】明石市社会福祉協議会 地域支援課 地域福祉係 (明石市ボランティアセンター)
明石市貴崎1丁目5番13号 市立総合福祉センター内 (業務時間) ※土日祝、年末年始除く
電話: 078(924)9105 FAX: 078(924)9109 8:55~17:40

【編集後記】

最近は一パターンになっていたパソコン操作でしたが、今年度広報のお仕事で明V連だより制作に携わったことで、文面や紙面の構成だけでなく、写真やタイトル周りのデザインの挿入等がレベルアップしたように思います。未だ思うように仕上げるのは時間もかかりますが大変面白い体験をさせて頂いています。 広報部 櫻江由紀子